

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	木質構造性能評価小委員会		主 査 名：安 村 基 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：中島 正愛 主 査 名：宮澤 健二
設 置 期 間	2006 年 4 月 ～ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・木質材料、接合部、木質架構の終局性状および設計式に関する既往の文献調査 ・構造性能評価モデルの検討 ・構造性能評価のためのクライテリアの検討。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 無		
	安村基(静岡大学)、大橋好光(武蔵工大)、村上雅英(近畿大学)、五十田博(信州大学)、 稲山正弘(東京大学)、河合直人(建研)、中川貴文(建研)、槌本敬大(国総研)、青木謙 治(森林総研)、三宅辰哉(日本システム設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2009 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナ ー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 「柱及びはりの大部分が木造である階について D s を算出する方法」につい てのパブリックコメント (平成 19 年 3 月)
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 当初計画に従い、木質材料、接合部、木質架構の終局性状および設計式に関 する既往の文献の収集および整理を行ない活動の資料とした。 2. 「木質構造設計規準・同解説」の見直しを行い、規準改訂を行うべき事項の 抽出を行なった。 3. 性能評価資料をもとに、「木質構造設計規準・同解説」における接合部設計 のための補助資料の検討を行なった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 本委員会は、設計規準のメンテナンスの性格を有しており、現行規準の見直 しのための資料の収集は行なったが、規準改訂のもととなる性能評価の確立には 至らなかった。本課題については、次期小委員会で検討を継続する。